

## 一学期の間の留学生活

韓国・淑明女子大学

チェ・ソヨン

こんにちは。韓国の淑明女子大学からのチェ・ソヨンと申します。これからは、私が過ごした一学期の留学生活についてお話したいと思います。

元々2021年10月から1年間、お茶の水女子大学で交換留学生として勉強をする予定でしたが、外国人入国禁止が続き、来日できませんでした。したがって、韓国でオンライン交換留学をせざるを得ませんでした。

私は、今学期に留学生の授業だけではなく、専攻の情報科学科の授業も受けました。原則的には、来日できないため、留学生の授業以外は受けられないと伝えられた。しかし、私の指導教官の小口先生のおかげで三つぐらいの専攻に関わる授業を受けることができました。

韓国でIT工学が第2専攻ですが、いつも授業を追いつくのが精一杯でした。それで、留学の前には、日本の授業をきちんと聞き取れるのかでとても不安になりました。しかし、韓国の授業との流れが似ているため、すぐ情報科の授業に慣れました。

情報科の授業で一番印象に残ったのは、プログラミングの環境でした。韓国は、一般的にIDEを使いますが、日本では、terminal、cmdを使います。初めて実際に使ってみたプログラミングの方法のため、慣れるのに少し苦労しましたが、使ってみたら軽くて便利だと思いました。

留学生の授業も楽しかったです。一番記憶に残る授業は‘日本語演習3B’で、興味がある分野の方とインタビューをし、成果をパンフレットで作る授業でした。私は将来、ペットを飼いたいと思うため、犬を飼っているお茶大の学生の方とインタビューをしました。ペットについて気になったことを聞いたりいろんなことを学んだりすることができてとても大切な経験になりました。

しかし、来日ができなくてもっと様々な授業を受けられなかったことや多くの人との交流ができなかったことで、とても残念な気持ちもあります。ですので、2022年は、実際に来日して、さまざまなことを挑める環境において勉強するのを楽しみにしています。

最後には、今学期手伝ってくださった先生の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。まずは、指導教官の小口先生、いつも私の振り返りシートを読んでくださって、またいろんなことを助けてくださって本当にありがとうございました。有益な授業を準備していただいた情報科の浅井先生、椎尾先生にも感謝の気持ちを伝えたいと思います。また、萩原先生と松田先生、いつも笑顔で留学生の話聞いてく

ださってありがとうございました。それから、気楽な授業の雰囲気を作ってくださいました西坂先生、本当にありがとうございました。

感動の新発売！

# 日本語演習 3B

1 2022  
January  
¥850

“やりたいことは、  
諦めなくて  
挑戦した方がいい”  
進路の手がかり、ジユンさん

“学生さんが喜ぶ顔  
を見られた時は、  
良かったと思う”  
夢への一歩、エヴァさん

“介護士の仕事で  
一番大事なのは  
待つこと。。。”  
研究は順調、キングさん

“ペットとの  
経験を伝える”  
深い話、ソヨンさん

**ボーナス取材！**  
チェコ、  
ポーランド、  
韓国  
の  
新年は？



ボーナス取材

